

○ 5月27日（月） 晴れ レブンコザクラ

今日は礼文島へレブンコザクラを見に行くぞ。

4時起床、よく晴れた朝を迎えた。早朝5時半、道の駅「わっかない」に車を置いたまま出発。6時半発の香深行フェリーに乗船するためにフェリーターミナルへ歩く。15分弱歩いて6時前にフェリーターミナルに到着した。もうすぐターミナルに着くというところで、こんなに朝早いのに観光バスが7台もやってきた。トラピックスのツアー客らしい。1台に40人乗車しているとして300人近い団体がやってきたのだ。みんな争うようにフェリーターミナルへ駆け込んで乗船口に並び長蛇の列ができた。



私は並ぶのをあきらめて、ツアー客が乗り終わるまで椅子に座って待つことにした。列はターミナルの外まで続きいつまで待っても最後尾が来ない。まいったな！！



やっとのことで乗船したが、当然のこと、船室はトラピックスのバッジを付けた乗客で超満員、椅子席は当然のこと板敷きの部屋にも立錐の余地もない。なんとか板敷きに隙間を見つけて腰を下ろした。

天気はいいが風が強くて波が高く、船は大きく揺れながら礼文島に向け白波を立てて走り2時間の船旅で礼文島の香深港に着いた。



10年前の2009年に車で入った懐かしい香深港だがかなり様子が変わっていた。フェリーターミナルは立派に新築されて広いバスターミナルが整備され、道沿いには食堂やみやげ店が立ち並んでいた。駅前にあった公園はなくなり、洗濯や洗い物で便利に使わせていただいた水道はどこにも見当たらない。

ちょうどレブンアツモリソウの開花時期なので、ツアー客がいっぱいなのだ。

私もレブンアツモリソウを見にゆこうかと思ったが、あの大挙して行くツアーの連中と一緒に見に行く気も起らないのであきらめて、レブンコザクラを探して桃岩から元地灯台を経て知床へ下る桃岩コースを歩くことにした。ちょうど一日のコースだ。

香深港から少し北へ歩いてから左へ入って桃岩を目指して急坂を登る。九十九折の舗装された自動車道は真夏のような日差しの照り返しが暑く汗が噴き出る。ところがこの自動車道の道端はお花畑だった。タンポポ、ヘラオオバコ、ハクサンチドリ、ヨツバシオガマ、オオバナノエンレイソウなど、さらにノビネチドリがいっぱい、こんなところにこんな花が当たり前のように咲いている。暑さを忘れて花々を楽しみながらのんびりと登った。当然だが歩いているのは私一人。天気は良いし、車は通らないし、静かな自然を独り占めした贅沢な礼文島になった。



ヘラオオバコ



オオバナノエンレイソウ



ノビネチドリ

しばらく上ると右手に分かれる道が現れた。

この道は「レブンウスユキソウ群生地」を通り礼文滝へ行く道で、以前車で通ったことがある。レブンウスユキソウはまだ咲いていないだろうが、本にはレブンコザクラが咲いていると書いてあるので行ってみることにした。砂利道の入り坂が延々と続き、約20分入ると道端にレブンコザクラが現れた。あまり数は多くないが、目的のレブンコザクラに会えたので夢中で写真を撮った。道端にはエゾエンゴサクもたくさん咲いている。



レブンコザクラ



エゾエンゴサク

また元の自動車道に戻り炎天下を桃岩展望台へ向った。自動車道は桃岩駐車場で行き止まり、ここから展望台へ向かって登山道をひたすら登った。眼下には駐車場が見える。



眼下には駐車場が見える

桃岩に上るまでは探しているレブンコザクラは現れなかったし、花々はほとんどない草付きだった。

やっと桃岩展望台にたどり着いたが誰もいないし、花はなににもない。

静かでもいいが、少々期待外れだ。



桃岩展望台

半ば期待せず桃岩展望台を超えて元地灯台方面へ向かったとたん、すごい！レブンコザクラとレブンハナシノブのお花畑が始まり期待以上の景色が広がった。おまけに花期が6月なので今回は見られないと思っていたサクラソウモドキまでもが、あちこちに咲いている。暑さも忘れ時間がたつのも忘れて写真を撮りながら歩いた。



レブンコザクラ



レブンハナシノブ



サクラソウモドキ



とにかく元地灯台までの道は素晴らしい。広々とした尾根に延々とつけられた道を遠くに眺めながら

歩くが、海へ落ちる斜面はエゾノハクサンイチゲのお花畑、道の両側にはレブンコザクラ、サクラソウモドキ、レブンハナシノブなどが、その美しさを競い合って咲いている。

ミヤマキンポウゲの黄色の花が所々で見られクロユリもちらほら咲いている。なにしろ人がいないのが良い。私一人、ほかに誰も歩いていない。



ミヤマキンポウゲ



クロユリ

ルンルン気分です。元地灯台について、利尻島を眺めながら昼食を摂った。



元地灯台

ここからは知床のバス停までは右手に利尻岳を見ながら下るのみ。



砂礫の道で花は殆ど見られないが草付きで紅花と白花のノビネチドリ見つけた。



知床バス停

知床バス停に2時前に着いたが香深港行きバスは1時間も待つ。香深港までの距離は4km弱、天気もいいし大した距離じゃないので歩いて香深港へ向かった。

海を右手に見て道端に咲くレブンソウやイワベンケイソウの写真を撮りながらのんびり歩いて香深港に3時前着いた。

道中 誰にも会うことがなかった。



最終便ひとつ前の15時50分発稚内行フェリーに乗って稚内へ戻った。朝強く吹いた風がやんだし、団体客もいないのでガラガラの船内、窓側の席に座り遠ざかってゆく利尻島をぼんやり眺めながら帰りの船は快適だった。今日は予想以上に素晴らしい礼文島を満喫できた。



稚内に着いて、予約しておいたホテルサハリンへ。バストイレ付きの和室208号室の素泊まり。まずゆっくり汗を流して疲れを癒したいので昨日と同じ「港の湯」へ急行した。

帰り道のセイコーマートで夕食を購入し、ホテルの部屋でのんびり遅めの夕食を摂った。ビール、チューハイで良い気分になり、今日の礼文島で出会った花々を思い浮かべながら熟睡した。



○ 5月28日(火) 曇 移動(稚内から恵庭へ)

今日は移動日。ソラチコザクラを探しに日高方面へ南下する、約400kの長距離走だ。

4時半起床。天気はあまり良くない。久しぶりの曇天でポツポツ雨も降っている。

朝の支度を終えて7時半に稚内を出発した。ナビを頼りに走っているが、来た時と全く同じ道を走っている。国道40号線(稚内国道)を南下し幌延へ出てから手塩に向かい海岸線に出る。あとは海岸に沿って国道232号線(日本海オロロンライン)を一路留萌まで走る。道の駅は「富士見」「羽幌」には寄ったが、「天塩」「苫前」「初山別」「小平鯨番屋」は寄らずに素通りして先を急いだ。

留萌で高速に乗り北竜という標識を見たら、道の駅「北竜」のカレーが食いたくなり、北竜で高速を下りて道の駅「国竜」へ向かった。相変わらずメルヘンチックな可愛い駅で、レストランも変わっていない。やはり人気の駅なのか、レストランには客がいっぱい入っている。

私はいつもの

「黒いカレー」を注文した。

サラダがついて 950 円。

変わらぬ旨い味に満足した。



道の駅「北竜」レストランの黒いカレー

北竜の沼田ICから再び高速に乗り直し、ひたすら走って札幌に着いた。ここで一旦高速を下りてガソリンを給油してから、また高速に乗って恵庭まで、やっと道の駅「花ロード恵庭」に着いた。ここまで 370 km、頭がボーとしてきた。この駅は私の大好きな駅で、毎年必ず泊まっている。今日もここで車中泊ときめこんだ。ここは風呂が隣接していないのが欠点、少し離れた所にある「日帰り温泉ラフォレ」まで行かなければならない。今日は疲れて動く気も起きないので、ビールを 2 缶開けて夕食を済ませそのまま熟睡した。



今日は道の駅「花ロード恵庭」で車中泊